

[009] 嚶鳴 : 九州大学基幹教育広報誌

<https://doi.org/10.15017/1682670>

出版情報 : 嚶鳴. 9, pp.1-, 2016-04-01. 九州大学基幹教育院
バージョン :
権利関係 :

Kyushu University
Faculty of Arts and Science
"KIKAN Education" Magazine

OHMEI

嚶鳴 おうめい

第9号
2016年4月



ようこそ九州大学へ!

基幹教育広報誌「鸚鳴」について

対象 全学部・学科1年次生
編集 基幹教育広報誌鸚鳴編集委員会
発行 毎年4月
発行者 基幹教育院



「鸚鳴」の由来

「鸚鳴」とは中国最古の詩集である「詩経」に出てくる言葉で、その意味について右に示しています。

また、この「鸚鳴」を冠した「鸚鳴天空広場“Q-Commons”」がセンター2号館4階にあります。この広場では基幹教育関連の参考図書を配架し図書館機能を持たせた勉学の間を提供するとともに、学生が気軽に集い語り合える学びの間を提供しています。

この広報誌の「鸚鳴」には、自然豊かな伊都キャンパスで多くの学生が仲間を求めて切磋琢磨しながらともに成長して欲しいという熱い願いが込められています。

目次	
基幹教育院長あいさつ	3
センターゾーンを使いこなそう!	4
九州大学入門～学生生活の道しるべ～	6
キャンパスライフ・健康支援センターの紹介	8
新入学生・学習サポート室・学生支援センターからのお知らせ	10
教員による授業紹介	11
学生の体験談	14
鸚鳴天空広場と図書館を使いこなそう!	16
情報環境を使いこなそう! 情報相談室からのお知らせ	18
留学情報/短期語学研修紹介	20
SALCで英語の力を高めよう	21
サークルのページ	22
伊都キャンパスの1年	26
正しいマナー・ルールで、快適な学生生活を!	28
大学内の連絡先	30
編集後記/編集委員	31

中国最古の詩集である「詩経」の小雅「伐木」にある

伐木丁丁 [木を伐ること丁丁たり]

鳥鳴嚶嚶 [鳥鳴くこと嚶嚶たり]

出自幽谷 [幽谷より出でて]

遷于喬木 [喬木に遷る]

嚶其鳴矣 [嚶として其鳴く]

求其友聲 [其の友を求むる聲あり]

相彼鳥矣 [彼の鳥を相るに]

猶求友聲 [猶友を求むる聲あり]

威勢良く木を切ると 響きあう鳥たちの声 深い谷間から高い木へと舞う その鳴き声は友を呼ぶ声だ あの鳥でさえ友を呼ぶまして人ならば友を呼ばないことがあるのか……
に由来。

【鸚鳴 (おうめい)】

- ①鳥が仲よく鳴き交わしたり、友人を求めて鳴いたりすること。また、その声。(大辞林)
- ②友人同士が仲よく語り合うこと。
- ①鳥がむつまじく鳴きかわすこと。また、鳥が友を求めて鳴く声。(広辞苑)
- ②友人がむつまじく唱和すること。

基幹教育院長あいさつ

「知の森」の中での「自分づくり」

九州大学 理事・副学長
基幹教育院長

丸野 俊一
まるの しゅんいち



厳しい受験競争を乗り越え、晴れて、九州大学に入学された学生の皆さん、おめでとう。いま皆さんの心の中には、未来の自分づくりに向けて、夢と希望に満ち溢れている、その一方で、大学生活を如何に過ごしていくかに関して、迷いや不安や葛藤が渦巻いていることでしょう。でも、それでいい。未来は希望と不安が織りなす無限の可能性。その可能性の扉を開くか否かは、一人ひとりの、一歩踏み出す勇気にかかっています。多様な「ひと・もの・こと」との出会いの狭間で揉まれ・学び、創りだす「ものの見方・考え方」や価値観こそが、ブレない自分を支え、未来を切り拓く逞しい精神力と創造的な力となることでしょう。

大学での学びの過程は、一人ひとりの潜在的可能性を切り開き、未来の自分の在りようを決定づける「自分づくり」の過程である。これまでも、「モノ・ヒト・コト」と関わる際の、ものの見方・考え方(思考の枠組み)や判断基準(価値のモノサシ)を身に付け、自分づくりを行って来ているに違いない。でもそれらの多くは、周囲の支えを受けながら受動的に身に付けてきた「ある文化」の取入れによるものである。価値観や文化の異なる将来を生きていく(「なる文化」を生み出す)ためには、「確固たる新たな自分を創り出す」ことが求められる。使い慣れてきた「借りものの」思考の枠組みやモノサシを批判的に吟味・検討し、修正・創り直すことが大切になる。それは、“これまでの私”とこれまでとは異なる“未来を生きる、もう一人の私”との間に起きる、矛盾や葛藤を解消しようとする自己内対話を発生させるに違いない。

「自分は何をしたのか」「自分には何ができ、何ができないか」「自分にとって大切な可能性とは何か」を、真摯に、問い直し続けてほしい。大切なことは、「断じて自分に反することなく、偽らず、心の奥底から湧き上がる内なる声に耳を傾け、その声を大切に、本気になって取り組む」ことだ。そうすることで、“これまでの私”の生まれ変わりである“もう一人の私”は、「将来の自分創り」を志向する“新たな私”となることだろう。

大学は、広大な深い「知の森」である。知の森、そこには皆さん一人ひとりの潜在的可能性を切り開き、大輪の花となって芽吹く種が至る所に埋もれて

いる。どれが開花し、結実する種であるかの取捨選択および判断は、全て皆さん一人ひとりの責任である。これが大輪の花を咲かせる種であると、懇切丁寧に、大学では与えてはくれない。大学では、いろいろな状況・条件で大きく開花する可能性のある“種はどれであるか、どこにあるか”に、学生自らが気づき、主体的に働きかけ、自分で学び取っていく、“多様な学びの間”を提供するのみである。それだけに、もし与えられるものをただ待ち望んでいるという受け身の姿勢でいると、結果的には、広大な深い「知の森」に迷い込み、自分を見失ってしまいかねない。

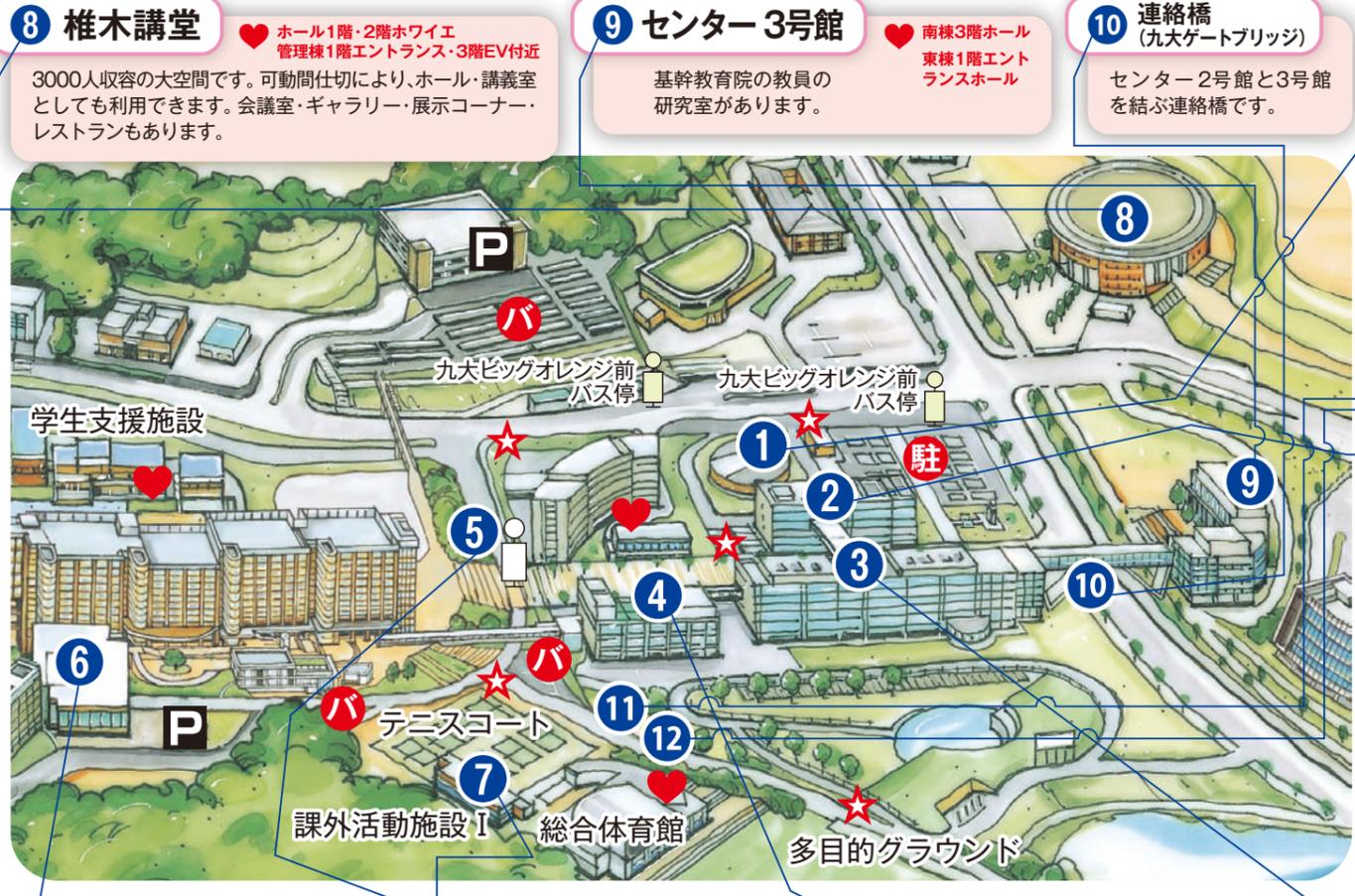
広大な深い「知の森」で、自分なりの大輪の花を開花させるためには、少なくとも、5つのCによる学びの姿勢が必要である。Change, Challenge, Collaborate, Create, Concentrate. この5つのCは、世界・自分を知るうえで、決して個々ばらばらに機能するのではなく、螺旋的に相互に影響し合う。高校までの学びのスタイルを「変え」(Change)、失敗やつまずきを恐れず、困難な課題や未踏の状況にも果敢に「挑戦」(Challenge)してほしい。失敗やつまずきは新たな学びが生起する善きチャンスである。失敗やつまずきを避けようとすればするほど、自分に関わる「ヒト・モノ・コト」との世界は狭くなり、新たな可能性は広がらない。それを避けるには、“失敗・誤り・つまづきを恐れず、失敗から学ぶ”といった“しなやかなマインドセット”を持つことである。なぜなら、“大学での学びは、答えのない問題や課題を解決する中で新たな知を創出していく失敗体験の連続である。また多様な考えが渦巻く、批判的・創造的思考が許される自由の間である”、からである。そこに必要になるのが、異なるものの見方考え方価値観と出あい「協働」(Collaborate)しながら、新たな知を創造し、自分を学び直し・高めていく(Create)姿勢である。他者との協働による思考過程は、各自の思考の限界や問題点を浮き彫りにしてくれる“思考の鏡”であり“創造の泉”である。あらゆるものに「専念」(Concentrate)することで、自分の限界に気づき、新たな飛躍の原動力が生まれる。

5つのCで九州大学での学生生活を心行くまでエンジョイし、個性豊かな「自分づくり」に励むことを期待しています。

センターゾーンを使いこなそう！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんにとってこれから始まる大学生活は、希望に満ち溢れていることでしょう。もしかすると、新しい環境に飛び込むことを、少々不安に思うことがあるかもしれません。大学生活は、今までとは異なり、自主的に行動することが求められます。センターゾーンの施設を賢く利用し、これからの大学生活を有意義なものにしていきましょう！



8 椎木講堂
 ホール1階・2階ホワイエ
 管理棟1階エントランス・3階EV付近
 3000人収容の大空間です。可動間仕切により、ホール・講義室としても利用できます。会議室・ギャラリー・展示コーナー・レストランもあります。

9 センター3号館
 南棟3階ホール
 東棟1階エントランスホール
 基幹教育院の教員の研究室があります。

10 連絡橋 (九大ゲートブリッジ)
 センター2号館と3号館を結ぶ連絡橋です。

11 ビッグオレンジ
ビッグオレンジレストラン
 ちょっとリッチなランチを食べたいときはこちらへ。週替わりランチセットやケーキセットがあります。夜の団体での予約も受け付けています。

12 センター1号館
 1階北側通用口
1F 学生相談室
 コミュニケーション・バリアフリー支援室
 学生支援コーディネーター室
 大学生になるといろいろ悩みもできます。そんなときはカウンセラーの先生方が話を聞いてくれます。修学以外のことでも、何でも気軽にご相談ください。(詳細はP8)
1F 学生支援センター
 (詳細はP10)

11 餃餃舎
 ATM (福岡銀行)
 店内には、書店と売店があり、書籍や文房具、弁当や飲み物の提供をするほか、自炊食材の販売を行っています。また、旅行受付業務や住まいのあっせん等様々なサービスを提供しています。

12 亭亭舎
 昼間は学生が食事を亭亭舎内でくつろぎながら摂れるように開放し、夜は懇親会や交流会などの利用を想定し、予約制の形をとります。予約は餃餃舎カウンターで受け付けます。

2 センター2号館
 1階ローソン横出入り口
2F 健康相談室
 けがをした、体調が悪い...そんなときはこちらへ。医師・看護師・保健師さんが対応してくれます。(詳細はP8)
1F カフェ・軽食 QASIS、ハラル
 パスタやカレーなどの軽食、喫茶ができます。宗教食に対応したコーナー「ハラル」もあり、チキンバブ井など日本人にとっては目新しいメニューも取り扱っています。
1F 嚶鳴珈琲館
 学生により運営されている「カルチャーカフェ茶処」の伊都店です。コーヒーが飲みたいときに限らず、ちょっと一息、友だちとおしゃべりしたいときなどにご利用ください。

3 センター2号館
 1階ピロティ
1F サポート室
 入学後、今までと違う環境になり、不安はありませんか？分からないこと・気になることなどに先輩がお答えします。親や先生、友人に言えないことも先輩だったら話せるかも。大学生活から勉強まで、ささいなことでも気軽に話しに来てみませんか。(詳細はP10)
4F 嚶鳴天空広場 (Q-Commons)
 学生が自由に使用できる自習室です。自分のPCを持ち込んで利用することも可能です。また、書籍の貸出もしています。空き時間にぜひご利用ください。(詳細はP17)

6 伊都図書館
 1階ロビー
 伊都キャンパスの図書館です。センターゾーンから徒歩5分程に位置し、豊富な書籍や自習スペース、PCなどがあり、学習の場として最適です。(詳細はP16)

5 伊都地区専用循環バス
ビッグさんど バス停
 伊都キャンパスは広いので、循環バスが走っています。歩いていくには少し遠い。そんなとき、ぜひご利用ください。

4 生活支援施設 (ビッグさんど)
B1・1F 学食・喫茶 (ビッグさんど)
 丼物・麺類から定食まで、メニューが豊富に揃っています。量り売りコーナーもあります。喫茶コーナーではパンやスイーツがあります。いれたてのコーヒーと一緒にいかがですか？
1F ローソン
 やっぱ便利なコンビニ。キャンパス外のコンビニまではちょっと距離があり不便ですが、学内にあるのでとても便利です！
1F ATM (西日本シティ銀行)
 西銀のATMがあります。福岡銀行やゆうちょ銀行などもキャッシュカードの利用は可能です。なお、餃餃舎(P5参照)には福岡銀行ATMが、ウエストゾーンには福岡銀行とゆうちょ銀行のATMがあります。

7 課外活動施設 I
1F 事務室
 サークル等団体での、体育施設・課外活動施設Ⅱ・学生支援施設・センター2号館(土曜日のみ)などの予約ができます。個人では、グラウンド・テニスコートなどの予約ができます。授業や部活・サークル以外でも、身体を動かしてリフレッシュしてみたい方がですか？



駐 駐輪場
バイク置場
 自転車とバイク置場は分かれています。決められた場所に停めてください。

★ セキュリティポール
 伊都キャンパス内に、緊急電話及び防犯カメラを備えたセキュリティポールが全19台設置されています。事件や事故が起こった際に、緊急電話で連絡すると守衛所に繋がります。警備員が駆けつけます。センターゾーンに5台、陸上競技場付近に2台設置されています。もしもの場合に備え、設置場所を意識しておきましょう。

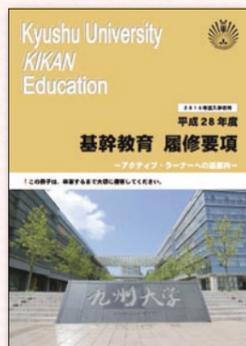
♥ AED (自動体外式除細動器)
 心臓発作など万一の事態が起きた場合は、救急車が来るまでに、AEDを使用して、心臓マッサージと人工呼吸を行う必要があります。AEDは、伊都キャンパス内に全26台(内センターゾーンに13台、陸上競技場付近に2台)設置されています。万一の事態に備え、設置場所を確認しておきましょう。

九州大学入門 ~学生生活の道しるべ~

九州大学に入学した皆さんには、入学式前後に、大学から様々なパンフレットが配られています。これらは、皆さんがこれから九州大学において学生生活を送る上で大切な情報が掲載されています。そのうち主なものを以下に掲載します。是非目を通してください。

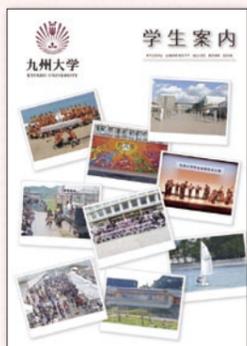
冊子版のパンフレット

以下で紹介するパンフレットは、冊子版として紙媒体で配布されています。Web上で電子版が公開されているパンフレットについては、URLとQRコードを併記していますので、是非利用してください。



■ 基幹教育履修要項
入学直後から学ぶ基幹教育科目の履修上の注意、各学部・学科の指定科目、授業科目の目的や概要等、基幹教育を履修する上での重要な情報を掲載しています。卒業するまで大切に保管してください。

http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/campus_life/pdf/28youkou.pdf



■ 学生案内
学生生活に必要な情報を、特に伊都地区センターゾーンを中心に掲載しています。その他、全学の学生関係施設の情報なども掲載していますので、大いに活用してください。

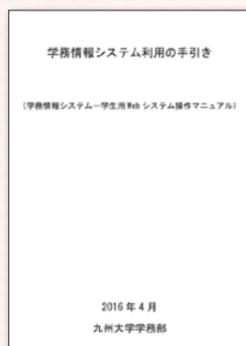


■ 学生生活ハンドブック
学生生活上のさまざまなリスクのうち、特に知っておかなければならないことを中心に掲載しています。内容を熟読し、身の回りのリスクから、自身を守るリスクマネジメントを身につけてください。

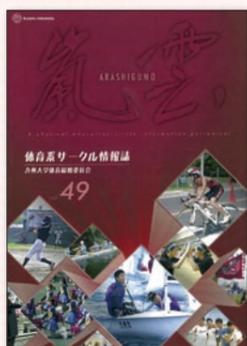
<http://www.kyushu-u.ac.jp/student/pamphlet/handbook.pdf>



■ キャンパスライフ・健康支援センターご案内
急激な環境の変化やストレスから、こころやからだの不調をきたす場合があります。そのような時は遠慮しないで、センターの各相談室を訪ねてください。必ず力になってくれます。



■ 学務情報システム利用の手引き
履修する授業科目の申請(登録)や、成績の確認をする際に利用するwebシステム(学務情報システム)の利用方法について説明しています。



■ 嵐雲
体育系「公認サークル」の情報誌です。文化系の「公認サークル」は、P25に掲載していますので、参考にしてください。キャンパスには、サークルを騙って、個人情報を聞き出すダミーサークルも見受けられますので、サークル名や活動内容を必ず確認して、安易に個人情報の交換をしないようにしましょう。



■ 九大から世界へ翔びたい!! ~留学パンフレット~
交換留学、短期留学など少ない負担で留学できるプログラムや体験談を紹介しています。大学の支援を賢く利用して国内外で広く活躍できる人材を目指しましょう。

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study/student-exchange/pamphlet.pdf>



■ 九州大学伊都キャンパスガイドブック
伊都キャンパスの施設・食堂・売店・展示物等について紹介しています。これを読んで伊都キャンパスライフを満喫しましょう。

<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/publicity/publications/ito/>



■ 情報セキュリティガイド
インターネットなどの情報環境を利用する場合、使い方を誤るとウイルス感染などのトラブルになることがあります。これを読んで安全・安心な利用方法を学びましょう。

<https://www.sec.kyushu-u.ac.jp/sec/pdf/sec-guide.pdf>



電子版のパンフレット

以下で紹介するパンフレットは、電子版としてデジタル教材配信システムBookLooperで配信されています。BookLooperのインストール方法や利用方法の詳細は、<https://sites.google.com/site/9booklooper/manual>を参照してください。



■ M2B 学習支援システム 学生用マニュアル
e-Learning システム Moodle、e-ポートフォリオシステム Mahara、デジタル教材配信システム BookLooper の3つのシステムをまとめた学習環境を M2B(みつば)と呼んでいます。本書では、M2B の使い方やサポートについて説明しています。



■ 九州大学 基幹教育 文系ディシプリン科目履修案内
本書では、平成28年度に開講される「文系ディシプリン科目」全17科目のうち、文学系と社会系(哲学・歴史学・文学・社会学など)に関わる9科目について、その各担当教員ごとにその授業を紹介しています。同じ科目であっても教員それぞれに対象とする時代や地域、そしてアプローチの方法などに特色があります。



■ アクティブ・ラーナーへの第一歩 ~基幹教育攻略ガイド~
九州大学で学ぶ上で特に知ってほしいことや尊重してほしいこと、基幹教育において注意してほしいことに加えて、レポート作成とプレゼンテーション課題についての入門的な解説を掲載しています。日頃の学習に役に立つ情報が満載です。入学後できるだけ早く目を通すことをおすすめします。



■ 適正な研究の進め方を知ろう ~九州大学で学ぶ学部生のために~
このテキストは、新入生を主な対象として作成された上記の資料、「アクティブ・ラーナーへの第一歩~基幹教育攻略ガイド~」に続くもので、みなさんが2・3年生となった時、自分の研究を始めるその前に知っておいて欲しいことを紹介したものです。英語版「Proper Research Guidelines - A Guide for Kyushu University Students」も配信されています。

九州大学で過ごすみなさんの生活とところ・身体の健康を見守る

キャンパスライフ・健康支援センターの紹介

キャンパスライフ・健康支援センターは、九州大学における学生・教職員への健康支援、心理支援などを行っています。



<http://www.chc.kyushu-u.ac.jp>

(携帯でも見られます)



学生生活や修学の相談

学生相談室



学生生活や修学、進路についてのカウンセリング・相談・支援、留学生の相談

例えば・・・

- ・勉強がうまくいかない
- ・友達関係で悩んでいる
- ・学校になじめないなどの相談



臨床心理士資格をもつカウンセラーと各学部・学府の先生方(学生相談教員)が、困り事の相談を受け付けています。中国語を話せるカウンセラーもいます。

場所

センターゾーン
1号館 1階
(P5参照)

からだと心の健康相談

健康相談室



風邪や腹痛、怪我などの診察、および生活習慣(運動、食事、睡眠など)に関する相談・支援

例えば・・・

- ・体調が悪い
- ・眠れない
- ・元々持病があるなどの相談



医師・保健師が常駐し、小・中・高校にある保健室と同様に、定期健康診断、授業・部活中の怪我の処置、体調不良時の相談や病気の初期治療、病院への紹介、などを行います。

場所

センターゾーン
ローソン 2階
(P5参照)

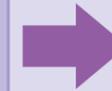
障害やアクセシビリティの支援

コミュニケーション・バリアフリー支援室

障害のある学生が安心してキャンパスライフを過ごせるように修学環境の整備を推進

例えば・・・

- ・障害があるので授業で配慮してほしい
- ・サポートに関心があるなど



修学機会の均等(授業等における情報保障や教室へのアクセス確保、合理的配慮のための個別支援等)、障害学生支援やアクセシビリティ活動を行うピア・サポーター学生を育成します。

場所

センターゾーン
1号館 1階
(P5参照)

学生支援コーディネーター室

教職員と連携し、悩みや困りごとを抱えている可能性のある学生さんに連絡をとり、お話をお聞きしています。連絡があった場合には気軽に話をしてみてくださいね。(センター1号館1階。P5参照)

健康支援開発室

みなさんの健康データを収集・分析して、エビデンスに基づいた健康情報発信を行います。

各キャンパスにも相談窓口があります



地区	相談窓口	電話番号	受付時間
伊都センター地区	学生相談室	092-802-5820	月～金 10:00～17:00
	健康相談室	092-802-5881	月～金 9:00～17:00
伊都ウエスト地区	学生相談室・健康相談室	092-802-3297	月～金 9:00～17:00
箱崎地区	学生相談室	092-642-3886	月～金 9:00～17:00
	健康相談室	092-642-2287	月～金 9:00～17:00
大橋地区	学生相談室・健康相談室	092-553-4581	月～金 9:00～17:00
病院地区	学生相談室・健康相談室	092-642-6889	月～金 9:00～17:00
筑紫地区	学生相談室・健康相談室	092-583-7685	月～金 9:00～17:00

新入学生・学習サポート室・学生支援センターからのお知らせ

新入学生サポート制度

新入学生サポート制度は、学生の皆さんが入学直後に直面する様々な不安を軽減し、大学生活への円滑な移行を早期に図るため、先輩がサポーターとして生活上の相談に応え、支援を行う制度です。

毎年、入学式から授業開始までの時期において、多くの方が相談に訪れています。

よくある相談内容としては、大学内の施設や窓口の場所、サークルやアルバイトに関する相談等が挙げられます。高校までとは異なり、すべて自分で考え、行動することが求められ、新入学生の皆さんにとっては戸惑うことばかりだと思います。過去に同じような不安を抱え、それを乗り越えてきたサポーターからのアドバイスは、きっと皆さんのお役にたつのではないのでしょうか。

どんな相談でも構いません、サポーターが笑顔で丁寧に対応しますので、ぜひサポート室に足を運んでみてください。

活動期間 4月～5月
時間帯 4月：平日 10:30～17:00
5月：月・水・金曜日 15:00～17:00
場所 サポート室(センター2号館2102教室)(P5参照)

学習サポート制度

学習サポート制度は、基幹教育を履修している学生の皆さんに、基幹教育の授業科目の学習支援、学習相談を行うと同時に大学生としての主体的な学習態度の涵養を図るため、大学院生の先輩がサポーターとしてアドバイスをを行う制度です。

具体的な内容は、授業で理解が不十分だった箇所の解説やレポートの書き方などの他に、進路に関する相談も行っています。

他にも、就職活動についての体験談などを聞くこともできます。学部低年次生(特に新入学生)の皆さんから見ると、大学院生のサポーターは少し大人で緊張してしまうと思うかもしれませんが、彼らはみな優しく丁寧に対応してくれます。学習面で気になることがあれば、気軽にサポート室を訪ねてください。

活動期間 5月～翌年2月
(授業が行われる日)
時間帯 平日 14:50～18:10(4限、5限の時間帯)
場所 サポート室(センター2号館2102教室)(P5参照)

学生支援センター紹介

九州大学学生支援センター(基幹教育院附属)は、学生が「学び」を主体とした学生生活を送るための修学・生活支援、進路・就職支援を全学的な立場から統括・支援する組織として、平成25年7月1日に設置されました。

当センターにおける具体的な活動としては、基幹教育院の教職員と各学部等の教職員が連携を図り、教職協働体制を構築して、修学支援、進路・就職支援、正課外活動支援、経済支援を柱とした取組を行い、教育と支援のシームレスな関係の構築を目指します。また、留学生のための就業支援に向けて、新たな取組を始めております。皆さんより寄せられる質問や要望をしっかりと受け止め、九州大学をよりよい学びの場としていくための中枢として機能していきたいと思っております。

さらに、学生のメンタルヘルスを含む心身の健康のための支援や障がいのある学生の専門的な支援について、キャンパスライフ・健康支援センターと連携・協力を行い、学生支援の充実を図っていきます。

【学生支援センター窓口のご案内】

昨年より、学生支援センターの窓口を伊都地区センター1号館1階にオープンしています!

修学・就業・経済・正課外活動に関する相談窓口で、専門の教員が対応します。

何が問題かがわかっている、自分からまっすぐに所定の窓口に行きますよね。でも、何が問題なのかよくわからないとか、どこに行ったらよいか迷うなんて時は、センター窓口にお立ち寄りください。こんなことが気になっている、「こんなことがつらい」など、パーソナルな件にも対応します。学生生活を過ごす中で悩みや不安、疑問などがありましたら、どんなに小さなことでも構いませんので、ぜひぜひご利用ください。

設置場所
伊都地区 センター1号館 1階 (P5参照)
月～金 9:00～17:15
連絡先 092-802-5902 予約不要
q-ssc@jimu.kyushu-u.ac.jp

初年次の学生のみならず、九大生に対して、よりよい学びを得るための支援をしていこうと思っております。気軽にご利用下さい。



学生支援センター
副センター長
基幹教育院・教授
割石 博之
(わりいし ひろゆき)

WARIISHI Hiroyuki

教員による授業紹介

心について科学的に考える



人間環境学研究院
教授
中村 知靖
(なかむら ともやす)

NAKAMURA Tomoyasu

これまで心理学を学ぶ機会がなかったため、心理学がどのような学問であり、授業でどのようなことを学ぶのかが分からないという方が多いのではないのでしょうか。心理学は簡単に言えば、心の仕組みを科学的に解明する学問です。文系ディシプリン科目として位置づけられていますが、理系的な要素も含まれています。実験を行い、データを分析し、結果に基づいて理論を構築していきます。方法論は自然科学とほぼ同じです。

しかしながら、心理学は、心と言うとらえどころのない概念を扱うため、自然科学と比べて曖昧な部分があります。そのため、研究方法上で様々な工夫を行い、心の仕組みを解明しています。近年は脳科学や生物学との学際的な研究が進み、脳神経活動や遺伝子と心理的現象との関連性が明らかにされつつあります。心理学の授業は、皆さんの予想とは異なる内容かも知れません。しかしながら、授業の回を重ねるごとに、心の仕組みの不思議さに驚き、面白さに気づくことになるでしょう。

基幹教育には、心理学以外にもこれまで学ぶことがなかった授業が数多くあります。早く専攻教育の内容を学びたいと思いますが、基幹教育の時期こそ、専攻教育とは関連のない授業を積極的に受講してみてください。多様な分野を学び、知識や考え方に触れることが、その後の専門性を深めることとなります。授業を魅力的にするため、教員も努力していますが、皆さんの授業に対する姿勢も重要です。どのような授業にも積極的かつ主体的に関わることを期待しています。

数理統計学について



数理学研究院
教授
前園 宜彦
(まえその よしひこ)

MAESONO Yoshihiko

入学おめでとうございます。受験から解放され、大学生活を大いに楽しもうとしている方も多いことでしょう。しかし将来の目標に向けて学習に取り組んでいくことも大事です。私が紹介する数理統計学は、2年の前期に主として開講されており、すぐに履修するものではありません。学習指導要領の改訂で数学Iに統計が入っていますが、その内容は記述統計で残念ながら数学Bにある「確率分布と統計的な推測」はほとんど履修されていません。そのために数理統計学の履修者には、統計に馴染みがなく言葉や考え方に戸惑っている人がかなり見受けられます。しかしデータを扱う場面では必ず統計手法が必要で、手法を正当化している統計推測の理論を理解することが重要です。そのために基幹教育科目に数理統計学が配置されています。

教育・研究に対して様々な提言を行っている日本学術会議は、学部及び大学院生に対する学習内容・目的を明確にするために、分野別質保証について各学会からの提言を取りまとめています。それらの提言では多くの分野で統計学が重要な柱の一つと位置付けられています。経済学、工学、薬学、心理学などの分野はもとより、政治学、文学の分野でも統計学の学習が推奨されています。

全ての教科について言えることですが、一回学習しただけでマスターするのはほとんど不可能です。何回も繰り返し学習することで、初めて内容を理解することができます。特に馴染みの少ない科目は、繰り返すことが重要です。最初からダメだと諦めず、根気よく学んでください。

教員による授業紹介

無機物質化学



工学研究院
教授
石原 達己
(いしはら たつみ)

ISHIHARA Tatsumi

皆さんは、九州大学に入学し、これからの大学生活に心弾ませていることと思います。大学での勉強は、新しい知との出会いの連続で、好奇心を大いに高めてくれることと思います。また、これからの人生を支えてくれる知識が得られると思います。しかし、大学での授業は、高校までの授業とは異なり、授業に出さえすればすべてが理解できるとはいきません。我々教員は、皆さんに知的な好奇心を持ってもらうように、授業を魅力的なものにしようと種々工夫をしていますが、それでも映画や演劇のように、ただ席に座って、先生の話の聞いているだけでは、好奇心はわいてきませんし、理解もできません。それはいずれの授業も教えている事象の背景には多くの知の巨人たちが築き上げてきた学問の歴史と体系化があり、それを授業では凝縮して教えているためです。大学での授業はいずれも、事前に、習うことをちゃんと予習して、授業で聞いたことをさらに深く調べてみて、初めて習っている学問の面白さが分かってくるように設計されているためです。私は無機物質化学という授業を教えています。この授業では物質を構成する原子の中で運動する電子の様子や化学結合の成り立ちを中心に教えます。いずれも基礎となる知識は高校の化学で勉強しているのですが、それをさらに深化して、量子化学の立場で教えます。ここ100年ほどで大きく進展した原子の世界の概念を教え、また高校で勉強した内容が必ずしも正しくないことを教えますので、やはり、皆さんの自発的な取り組みが求められます。皆さんが九州大学での学生生活が有意義なものになるように、我々教員も教え方を工夫しますが、皆さんもぜひ、教わっている学問の面白さに気づけるように積極的に取り組んで欲しいと願っています。

健康・スポーツ関連科目を紹介します



人間環境学研究院
講師
内田 若希
(うちだ わかき)

UCHIDA Wakaki

九州大学では、基幹教育科目として「健康・スポーツ関連科目」を開講しています。健康・スポーツ関連科目は、必修科目である健康・スポーツ科学演習と、選択科目である身体運動科学実習Ⅰ～Ⅳ(集中講義含む)、および健康・スポーツ科学講義で構成されています。ここでは、みなさんが1年生前期に必ず受講する健康・スポーツ科学演習についてご紹介します。

健康・スポーツ科学演習という科目名を聞くと、多くのみなさんは高校までに学習した「保健体育」をイメージするかもしれませんが、本学の授業はみなさんの想像とはちょっと違います。この授業では、学習活動・社会活動の基盤となる健康・体力を向上させるための身体運動あるいは心身トレーニングの原理と実践方法を学習するとともに、自律的セルフケアスキルであるライフスキル(ストレス対処、目標設定、リーダーシップ、コミュニケーションなどの各種スキル)の習得を目指します。したがって本演習では、みなさんひとりひとりが積極的に授業を創り上げていく姿勢が求められるのです(ですので、運動・スポーツが苦手な人も心配無用です)。

また、この授業は演習という特性上、授業の見学を基本的に認めていません。そこで、病気やケガ、障害などの理由により受講が難しい学生さんを対象として、受講生の心身の状況に応じて授業内容をアレンジした健康・スポーツ科学演習(アダプテッド・コース)も開講しています。受講に際し、心身の状況に何らかの心配事などがある場合には、キャンパスライフ・健康支援センターに相談に出向いてみてくださいね。

女／男の境界線への知的挑戦



人間環境学研究院
教授
野々村 淑子
(ののむら としこ)

NONOMURA Toshiko

皆さんは、これまでの人生で、女／男であること、女／男に生まれたことに、なんらかの違和感、あるいは否定的感情を抱いたことはあるでしょうか。「女性学・男性学」(総合科目・フロンティア科目・前期・水・4)の目的は、まさにこの‘性差’という概念を問う、その問いかたを学ぶことです。女と男が違うなんて当たり前ではないか、と思うかもしれません。しかし、同性のAさん、異性のBさんと自分とを見つめたとき、AさんよりBさんのほうに同質性や志向性の近さを感じたことはありませんか。実は、人間を、この男女という二分法で区分するという考え方そのものが、文化や社会のなかで制度として正統化されているフィクションである、これが近年のジェンダー研究の出発点です。

男女共同参画(社会)が、その法的根拠にもあるように、男女の相違やそれに伴う社会的立場や役割において、現在私たちの社会では当然目指すべき着地点として認知されているのは、皆さんもご存知だと思います(後期・高年次科目「男女共同参画」もぜひ参照)。

大学においては、こうした男女をめぐる社会的、文化的事象について、確認するのではなく、その前提を問うことが可能であり、かつ要請されています。そのために、教育、労働、生活、メディアなど多様な領域における、性差をめぐり、あるいは性差を根拠とした規範や行動様式、そこに包含される問題点について、従前の研究アプローチの様々な知り、そして自ら問うことから始めてみませんか。これは、2年次から皆さんが進む様々な専門課程での学究においても重視されるべき、学際的なまなざしを醸成するはじめの一歩です。性差は、文理問わず様々な学問研究において、その指標にされてきました。各々の科学に前提とされている性差の概念も、知的挑戦を受ける、すなわちその前提を問われるべきでしょう。平成28年度からはまた装いも新たに、皆さんとの「出逢い」を期待しています。

学術英語科目



言語文化研究院
教授
田中 俊也
(たなか としや)

TANAKA Toshiya

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。基幹教育における学術英語科目をご紹介します。一筆啓上します。「学術英語リーディング・リスニング」では、学術的な英語の文章を読むことおよび聞くこと(英語を使用して情報を受信すること)に焦点を当てた演習を行います。一方、「学術英語ライティング・スピーキング」では、英語を使って学術的な文章を書き、口頭発表する(英語を使用して情報を発信する)演習を行います。どちらにも共通する大切なことは、実際に使える語彙力と文法力を増強することでありましょう。「使える」語彙力や文法力は、丸暗記だけに頼ってはいられないでしょう。様々な分野の学術的な文章を読むこと・聞くことで、どのような表現がどのような文脈で使用されているか、気付くようにしてください。気付いた表現を、書くこと・話すことで使ってみてください。「受信しては発信すること」を繰り返して、使える表現を増やすようにしてください。Never did I dream the Hawks would win the championship again「ホークスが再び優勝するなんて、夢にも思わなかった」という表現は、I never dreamed ...と意味は変わりませんが、Neverという否定辞を文頭に置き、助動詞didと主語のIを倒置させると、文語的な「堅い」表現となります。このような表現が学術的な文章では登場しますので、皆さんも使えるようになってほしいと思います。「学術英語CALL」科目で使用する『九大英単:大学生のための英語表現ハンドブック』も、使える表現を増やすことに役立つでしょう。英語を使いこなせるようになるべく、どうぞご精進あれ。

学生の体験談（授業）

基幹教育セミナーを受講して

医学部保健学科看護学専攻
福田 比奈子



今 回受講した基幹教育セミナーは、自分とは異なる価値観を持つ人との交流を図りながら、大学における学びや将来の自分の理想像についてより深く考えるための貴重な時間を提供してくれました。それぞれが歩んできた道に沿って様々なストーリーと価値観があり、求める学び、目標も人によって大きく異なります。他学部の人との交流によって新たに発見したもの、再認識したものは、つい自分の専攻に偏りがちな考えを大きく膨らませ、自分が「こうありたい」と思う姿を確立するための大きな手助けとなりました。発表後の仲間からのフィードバックは今でも自分を見つめなおすことのできる大切なものです。他者に自分の考えを伝えることを苦手としていた私でも、堅苦しくない授業の雰囲気ですぐ溶け込むことができ、毎回の授業がとても楽しみでした。

基幹教育セミナーを受講して

文学部
平川 亜紀



基 幹教育セミナーでは人前で12分間、自分自身の学びについて発表します。最初は憂鬱に感じた発表ですが、何人かの発表を聞くうちに意識が変わりました。プラス思考で捉えようと、基幹教育セミナーは『大学公認で自分の好きなこと(=学び)について語ることができる機会』なのです。好きな学問について、その理由や魅力を存分に語ることのできる時間だと考えると、なんだか楽しそうに思えてきませんか？また、私は基幹教育セミナーを通してそれらを考え、言葉にして他人に伝えることで、自分自身の学びの原点や大学での目標を再確認することができました。きっと基幹教育セミナーは貴重な経験になります。ですから、せっかくの機会、楽しみながら取り組んでほしいと思います。

課題協学のよさ

工学部機械航空工学科
北村 孝寛



つ ながりテーマにした課題協学科目。私がこのテーマを選択した理由は第1回目に行われたテーマ説明で心惹かれるものを感じたからです。そもそも課題協学は他学部との交流をはかれるもので、普段接することのない人達と議論することができます。自分たちの学部とは違った観点で物事を捉えることを学ぶことのできる科目です。私はそのことを踏まえて議論の場が多そうとながりを知るというテーマを選択しました。内容としては生物・数学・社会学という3つの観点からながりを考えていくもので、どれも充実した議論の場を持つことができ、他学部の友達もできました。他学部の人からの刺激を受け自らの視野を広げてくれる。すごく良い科目だと思っています。新しく入ってくる1年生の方にもぜひ課題協学を大切にしたいです。

課題協学を受講して

工学部地球環境工学科
田中 ゆう



九 州大学の自慢したいところはたくさんありますが、そのうちのひとつが様々な学部学科の人達と出会える課題協学という授業です。私が受けた課題協学では初対面の5、6人でグループになり、課題を完成させるために共同作業をするというものでした。しかし課される課題は難しくなく、協力すればこなせる内容でした。では、なぜ九大ではこのような授業をするのでしょうか？それは、今グローバル社会で求められているのは専門的な知識、技術とコミュニケーション能力や様々な環境での適応力だからです。この課題協学では普段なら話すこともない様々な才能を持った九大生とたくさん出会い、その人達との何気ない会話からさえも学び、刺激を受け、また自分の考えを聞いてくれる友人ができました。この機会を良い意味で楽しんで有効に活用してほしいです。

学生の体験談（寮生活 / 留学生）

寮生活体験談

教育学部
佐甲 有里



協 奏館の周囲がこんなに田舎だとは思っていませんでした。電波が悪い、買い物が大変というデメリットもありますが、それ以上に、虫の声や星空、一人暮らし初期の心細い時期の寮のオリエンテーションや、試験期間中の談話室での勉強や、週に何度か留学生とも交流できるCoffee Hourの時間や、季節のイベントなど楽しいことが多かったように感じています。同じ大学に通う人が同じ建物で生活しているので顔見知りや友達が自然に増えたことも魅力です。私は部活で帰りが夜遅くなることが多いのですが、家が近いというのはとてもありがたかったです。

寮生活体験談

歯学部
与那嶺 亮



今 回、九州大学の新しい学生寮である伊都協奏館について書く機会を与えられたので、いくつか紹介していきます。初めに、この寮にはいろいろな国から来た留学生がたくさんいます。留学生とはいっても話をする事ができ、僕自身英語を話すことがそれほど得意でないですが、なんとか英語でコミュニケーションをとれています。また、新入生達が仲良くなれるよう管理人さん達やドミトリー・リーダーが様々なイベントを企画してくれるため、他学部の知り合いも自然と増えました。そのため、忙しいながらも毎日充実した大学生活を送れています。

寮生活体験談

文学部
坂本 真奈



新 入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私は、現在協奏館で楽しく暮らしています。協奏館は、皆さんが思っている以上に自由な寮です。門限はなく、一人で過ごす時間も、友達と過

ごす時間もありません。何より嬉しいのは、「おかえり」「おやすみ」を言い合える人がいることです。一人暮らしは寂しくなりがちですが、協奏館なら友達がそばにいてくれます。本当にありがたいことだと思います。また、留学生との交流も盛んです。一歩踏み出す勇気さえあれば、貴重な体験がたくさんできるはずです。素敵な大学生活をお過ごしください。

寮生活体験談

文学部
井手 希美



ド ミトリー3では他の寮と異なり、日本人2人留学生2人がシェアハウスをしています。シェアハウスといってもドラマとは異なり各々に個室があるのでプライベートな空間も確保されています。みんなで食事を作る部屋もあれば個人で食事を作る部屋も多くあり、暮らし方は様々です。実際に生活していると異文化理解に苦しむこともありますが、そんなときは互いの考えを伝え合うことが大事だと感じます。ただの留学生との交流とは違った異文化体験ができるドミトリー3で過ごした時間は、人生において大きな財産になると確信しています。

留学生体験談

理学部
陳 維嘉 (チン イテツ)



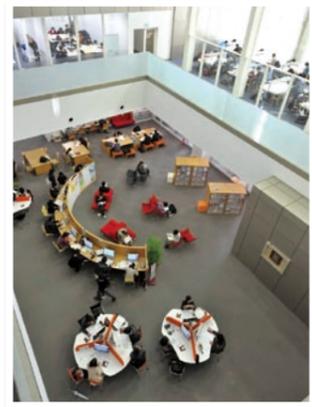
日 本で留学していると、日々実感していることは一つ、それは日本語の問題です。やはり海外で生活するには言葉の力が一番大切だと思います。以前、日本語学校で勉強していた頃、「カードをおつくりしてよろしいでしょうか？」と店員さんの一言に、私は「いいです」と答えました。すると店員さんはカードを作らず、私に「ありがとうございました」だけと言って、次のお客様を迎えようとしていました。「はい、お願いします」とこたえたらよかったのに、日本語版の「オーケー」をこたえた私、当時は当然、今も日本語をちゃんと勉強しなければなりません。

嚶鳴天空広場と図書館を使いこなそう！

九州大学には各キャンパスに図書館があります。ここでは、新入学生の皆さんの学習や交流の最初の場となる伊都図書館と嚶鳴天空広場Q-Commonsについてご紹介します。



2階閲覧席



1階情報サロン等

伊都図書館 (場所はP4参照)

学習に役立つ学術書、雑誌などを多数収蔵し、伊都キャンパスの教職員や学生の皆さんの学習・研究を支援しています。センターゾーンからは少し離れていますが、ぜひ気軽に足を運んで、今後の大学での学習の基礎を身につける場所として利用してください。

基幹教育を学ぶ皆さんが利用する資料は、主に2階にあります。授業の教科書・参考書を中心とした幅広い学習用資料や、小説等もたくさんあります。これらの図書は、図書の主題分野ごとに分類した番号体系に沿って配架されています。

また伊都図書館では、一人で、グループで、色々な形での学習が可能なスペースを用意しています。

- 一人で静かに集中して勉強したい人には
閲覧席(各階)
研究個室(1階)
- 友達同士でいっしょに勉強したい人には
グループ学習室(1、2階)
オープンセミナー室(2階)
ラーニングcommons(2階)

仕切られた空間で話しながら勉強できます。グループ討議や授業での発表の練習などに最適です。ホワイトボードを備え付けており、プロジェクター等も貸出しています。

- PCを利用して学習したい人には
情報サロン(1、2階) [iMac 62台]

九州大学無線LANのアクセスポイントも複数箇所設置しています。iMacや、自分のPCから印刷可能なプリンターも設置しています(有料)。

九州大学の蔵書をはじめ文献を検索するためのツールや、電子書籍等にアクセスできる各種のWebサービスも提供しています。

【図書館Webサイト】 <https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/>

- 図書や論文を探すときには
=九大コレクション、世界の文献
- 貸出期間の延長や施設の予約をするときには
=マイページ(Webサイトにログイン！)
- 学習に役立つ調べ方ガイド
= Cute.Guides

授業・課題に関する文献の検索など、困ったことがあれば図書館のスタッフになんでもご相談ください。また、図書館には皆さんを強力にサポートしてくれる大学院生の学習サポーターCute.Supporters(略してCuter)もいます。どんな相談でもお気軽にどうぞ！



資料がみつからない？

レポート・試験対策？

パソコントラブル？

私たちが相談にのってます！
図書館学習サポーター(Cuter)

嚶鳴天空広場Q-Commons (センター2号館4F. P5参照)

友達同士での勉強や情報交換など、自由な時間を過ごすことができる学習・交流スペースです。この広報誌の名称にもなっているように、学生の皆さんの学びと憩いの拠点となることを目的としてつくられました。ぜひ授業の合間や待ち時間に立ち寄ってみてください。



嚶鳴天空広場入口

【学習スペース(静)】

ちょっと静かに勉強したい人は奥の席へ。窓際は外が見えてカフェ気分を味わえるかも？



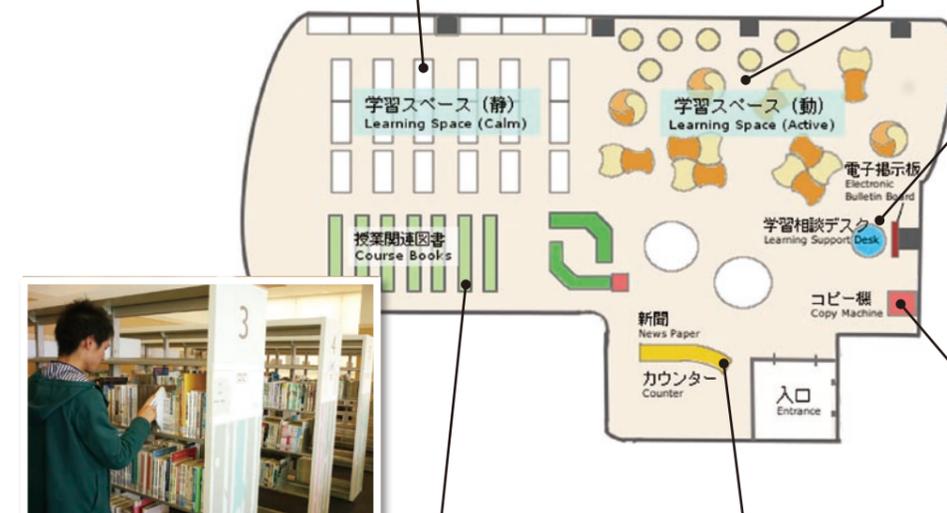
【学習スペース(動)】

みんなで楽しく勉強したい人は可動式の机や椅子のあるエリアがおすすめ。ホワイトボードもあるので、プレゼンの練習などもできます。



【学習相談デスク】

嚶鳴でも図書館学習サポーター(Cuter)がスタンバイ。お気軽にご相談ください！



【学習用図書・新聞】

基幹教育のシラバス等に掲載される、授業に直接関係する図書を置いています。貸出可能です(辞書等は不可)。【貸出冊数/期間】3冊/1週間
もう少し幅広く探したいときには伊都図書館へ。日本経済新聞、朝日新聞、糸島新聞も読むことができます。

【カウンター】

図書の貸出・返却はこちらへ。伊都図書館等他の図書館で借りた図書もここで返すことができます。

【コピー機(有料)】

専用PCからファイルの印刷もできます。(要USBメモリ)
レポート提出期限前は行列ができます。プリントはお早目に…

伊都図書館

開館時間：[平日] 9:00~21:00 (試験期間は22時まで)
[土日祝日] 10:00~18:00
休館日：8月中の3日程度、年末年始
TEL：092-802-2450 (カウンター)
E-mail：titoservice@jimu.kyushu-u.ac.jp

嚶鳴天空広場

開室時間：[平日] 9:00~21:00
休室日：土日祝日
基幹教育の授業を行わない休業期間
TEL：092-802-5877 (カウンター)

情報環境を使いこなそう！情報相談室からのお知らせ

九州大学では学生の皆さんが充実した学習を進めていけるよう、様々な情報サービスや学習コンテンツを提供しています。これらの情報環境をうまく使いこなして、質の高い学習を進め、快適で実りある学生生活に役立ててください。

★まずはこれが基本！学生生活に必須の情報環境★

以下の情報環境は、大学で学習を進める上で必須のものです。入学式前に実施された新入生PC講習会をふまえ、まずはこれらをしっかりと使いこなしましょう。

◆ 学生IDの管理と学生基本メールの利用

皆さん一人ひとりに提供されたアカウント(学生ID)を利用することで、学生基本メールの送受信、ネットワークの利用など、様々な情報環境の利用が可能になります。学生基本メールへは重要な連絡が行く場合がありますので、その内容を確実にチェックできるよう、以下のWebページを参考にPCやメールの設定を行いましょう。

■ <http://www.m.kyushu-u.ac.jp/s/> (学生基本メール)



◆ ネットワーク(無線LAN)

センターゾーンにはほぼ全域に無線LANアクセスポイント(edunet)が設置されており、皆さんの個人PCやモバイル機器などを接続できます。設定方法等は以下をご覧ください。



■ <http://iii.kyushu-u.ac.jp/general/service/network/> (情報統括本部 ネットワーク)



◆ 大学が提供するソフトウェアの活用

九州大学の学生および教職員は、Windows OS(※)、Microsoft Office、セキュリティ対策ソフトなどを個人所有のPCに無償でインストールし、利用することができます。利用方法の詳細は下記Webページをご覧ください。

■ <http://soft.iii.kyushu-u.ac.jp/> (情報統括本部 ソフトウェア)
(※ Windows OSマシンでのアップグレード及びMac OSマシンへの新規インストール)



◆ 授業での活用

一部の授業では個人所有のノートPCを活用します。授業で利用する際には、事前に充電を行ってくださることを忘れずに！



◆ M2B(みつば)学習支援システム

e-Learningシステム Moodle、e-ポートフォリオシステム Mahara、デジタル教材配信システム BookLooperの3つのシステムをまとめた学習環境をM2B(みつば)と呼んでいます。各システムには以下のページからアクセスできます。

■ <http://m2b.kyushu-u.ac.jp>

システムのマニュアルはBookLooperや以下のページで配信されています。

■ <https://sites.google.com/site/qfasfolio/>



M2Bの各システムの概要

e-Learningシステム Moodle

1講義ごとに『コース』が設けられ、コースの中で出席、小テスト、教材配布、レポート受け取り、アンケートなどを電子で行うことができます。



e-ポートフォリオシステム Mahara

講義で学んだことを記録して、自分自身の学びを振り返ることに利用します。講義ごとに用意された『日誌』に、各回の学びを書き留めていきましょう。



デジタル教材配信システム BookLooper

講義で使用するデジタル教材を配信しています。BookLooperは、PC講習会でインストールしていますので、積極的に活用してください。



★自律的に学習を進めるために！★

ここまで紹介したもの以外にもたくさんの情報サービスが用意されています。これらを使いこなし快適で実りある学生生活を送ってください。

◆ 基幹教育の情報

基幹教育院のホームページでは、学生ポータルシステムや授業シラバスなど、大学生活の様々なシーンで役立つITサービスへのリンクを掲載しています。日頃からこまめにチェックするようにしましょう。

■ <http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp> (基幹教育院)



◆ 自習スペースの利用

センター1、2号館の一部の部屋は自習向けに開放しています(授業実施中の講義室を除く)。個人所有のノートPCを活用した学習などにぜひ役立ててください。なお、PCの充電は指定された場所以外では行わないようにしてください。また、学習以外の目的での充電は禁止しています。開放時間等の詳しい情報はホームページや掲示を確認してください。

■ <http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~csr/> (情報相談室)



自習開放場所	設備や用途
2107講義室、2108講義室、情報相談室(1410)、 嚶鳴天空広場	個人所有PC持ち込み(充電可)

★困った時は？★

センター1号館4階の情報相談室(1410室)では、情報環境や個人ノートPCの利用に関するサポートを行っています。困った時は気軽にお越しください。

1404	1405	1406	1407	1408	WC	1409
EV	1403	1402	EV	1401	1410	

センター1号館4階

情報相談室の開室時間・連絡先

場 所：センター1号館4階1410

開放時間：平日8:30~17:00

T E L：092-802-5892

E - m a i l：csr@artsci.kyushu-u.ac.jp

留学情報

企業や社会がどういった人材を求めているのか、考えてみたことはありますか？国際社会で通用する語学力はもちろんですが、異なった背景をもつ人とのコミュニケーション能力、様々な考え方をする人たちをまとめて事業を遂行する能力もまた求められています。それらを身につける良い方法とは？その一つとして、「留学」があります。

留学にも様々な形がありますが、ここでは大学間学生交流協定を締結した外国の大学への交換留学について説明します。交換留学は、1年を超えない期間で外国の大学で学び、留学先で取得した単位は所属学部・学府が認めれば、単位互換が可能です。留学先では授業料支払いが免除となり、宿舍入居にも便宜が図られるとともに、奨学金・渡航費援助も多数用意されています。

学内募集は年に3回(7月～9月上旬、12月～1月、4月)で、希望者は申請書、志望動機、学習計画、成績通知書又は成績証明書、語学能力証明書等の書類を、所属学部・学府学生係を経由して国際部に提出します。提出書類を基に書類選考・学内面接が行われ、協定校への候補者が決まります。候補者はその後、各協定校の要求する語学力やGPAを満たしたうえで申請書類を提出しますが、留学の最終決定は受入側大学が行います。受入許可書が届いたら、受入大学の国の留学ビザを取得し渡航準備を進めることになります。

交換留学に必要な語学力は、英語で概ねTOEFL iBT 79, IELTS 6.0以上の点数が要求されます。学内選考時にはTOEFL-ITP(模擬試験)の点数が認められていますが、協定校への申請時にはTOEFL iBT 又はIELTSのスコアが必要です。

短期間での語学力向上は難しいので、留学を考えている人は、早い時期から語学アップを心がけられることをお勧めします。特に、日本人学生はスピーキング、ライティングが弱いという傾向が見られます。

留学に関する様々な情報は、国際部HPに掲載もしくは海外留学メールマガジン(学生ポータルシステムから登録可能)で情報発信しています。

▶ **国際部ホームページ** <http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study/index.htm>

短期語学研修紹介

CLP (The 21st Century Challenges in Living Abroad Program)

CLPは将来の中国/韓国交換留学を目指し、足がかりとして現地体験と語学力向上を希望する九大生のための3週間の中国語/韓国語現地語学研修です。九州大学が費用の一部を支援します。夏と春に実施し、派遣先は、中国語は台北と北京、韓国語はソウルです。募集情報は国際部HPと海外留学メルマガで配信します。

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study/short-term>

タイ語・タイ文化集中講義/短期留学

タイのマヒドン大学との学生交流の一環として、相互に自国の言語・文化を紹介する集中講義や短期留学を実施しています。8月にタイ語やタイ文化に関する集中講義を受け、8～9月の2週間マヒドン大学で学びます。

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study/program>

シリコンバレー英語研修プログラム (SVEP)

九州大学カリフォルニアオフィスが全面的にバックアップする夏季の英語研修です。カリフォルニアオフィスにも近く、かつ本学の協定校でもあるサンノゼ州立大学の英語研修所で実施します。サンノゼ市が位置するシリコンバレーは、起業家精神に溢れ世界の技術の最先端の地として広く知られた地域です。4週間の語学研修とホームステイをとおして朝から晩まで英語の生活に浸ることで、英語力の向上と新たな気づきを得られるでしょう。

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/california/program.html>

ASEAN短期留学:ASEAN in Today's World (AsTW)

AsTWは九大生と福岡女子大生及びASEAN加盟国の大学生が参加する、短期留学プログラムで、春期休暇中にASEAN諸国の大学で実施します。これまでにタイのマヒドン大学とフィリピンのアテネオ・デ・マニラ大学及びベトナム国家大学ハノイ校で実施しています。ASEAN研究コースとアジア文化入門(初級言語)コースを開講し、授業は全て英語で行います。名所への見学旅行と文化体験も含まれます。

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/astw-j/>

海外大学等のサマースクール

協定校が実施するサマースクールには、参加費等が免除されるものもあります。海外の大学生や日本の他大学生と知り合うことのできる機会です。

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/category/summer>

Self-Access Learning Center

SALC で英語の力を高めよう

「英会話の練習がしたい」、「留学に備えてTOEFLの対策をしたい」、「英語でプレゼンができるようになりたい」、「英語のニュースや記事を読んでみたい」。こうした多様なニーズに応えるためにSALC(センター1号館1F。P5参照)では、アドバイザーや留学生チューターたちによる英語学習相談や留学相談、英会話セッションなど、様々な英語学習支援を提供しています。また、TOEFLをはじめとする英語国際試験の問題集、英字新聞や雑誌記事などの様々なリソースにくわえ、英語を使つてのゲーム、読書グループ、映画を見てのディスカッションなどの活動を提供し、学生一人ひとりが自分のニーズに合ったリソースに、好きなときにアクセスして活用できるようにしています。

このように、学生自身が主体となる学びを促進していく「教室外」の学習の場であるとともに、SALCは、同じ目的を持つ日本人学生や、世界各地からの留学生との交流の場でもあります。ぜひ一度のぞいてみてください。なお、最新の活動はウェブ(<http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~salc/index.php/news/>)または、フェイスブック(SALC at Kyushu University)をご覧ください。



SALCを利用している学生の声



重信 和宏さん
経済学部
経済・経営学科

私は、アメリカのベレア大学に交換留学をしています。みなさんも交換留学をするためには、TOEFL iBTを受ける必要があります。この試験は簡単ではありません。この試験を乗り切るためにSALCを利用させていただきました。多くの日本人はスピーキングで苦労します。私もその一人でした。SALCがなかったら、私はアメリカにはいません。SALCがなかったら、空しい大学生活を送っていたでしょう。本気で留学したいのなら、この試験に多くの時間を費やすでしょう。留学のために、他の何かを犠牲にしてしまうかもしれません。しかし、この試験のおかげで留学先での授業にほぼついていきます。TOEFLの効果は絶大です。そして、スコアは時間をかけただけ間違いなく伸びます。才能なんか全く必要ありません。今まで留学したいと言いながら、留学できない人を多く見てきました。実際に留学できる人とできない人を分けるのは、本気度の違いです。口だけで終わらないでください。留学は本気になれば、誰でもできます。そんな本気を助けてくれる場所がSALCです。



瀧本 日向さん
工学部
物質科学工学科

私にとってSALCは英語だけでなく、いろいろなことを学べる場だと思っています。例えば、私は英会話に参加し、学年、学部、さらには国境を超えた交流をしています。会話を通してお互いの意見を交換したり、文化を知ったり、経験を共有したりと色々学ぶものが多くあります。また、SALCでは講演やディスカッション形式の授業など様々なイベントがあるので、普段の授業では学べないことも学ぶことができます。さらに、SALCでは英語を話せるようになりたい、留学してみたいなど様々な目標を持っている人と出会うことができます。この出会いが刺激になり、自分のモチベーションにもつながっています。

多くの人が英語で話すことに慣れていないため、敬遠しがちだと思います。しかし、SALCのスタッフの方々は優しく面倒を見てくれるので心配する必要はありません。英語「を」学ぶのではなく英語「で」楽しく学ぶ、そんな軽い気持ちでもっと多くの人にSALCを利用してもらいたいと思います。

AIKIDO

合気道部

理学部
福野 雄介 (ふくの ゆうすけ)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。九州大学合気道部です。

皆さんは『合気道』がどのようなものかご存知でしょうか?『道』というフレーズが入っているから柔道や剣道と似たものをイメージされるでしょうか?

合気道とは、簡単に言うと日本流の護身術です。相手とむやみに争うことはせず、相手の力を利用して最小限の力で身を守ることを目的とした武道です。

そのため基本的に試合の勝敗等で優劣を決めることはせず、日々の稽古の成果を演

武という形で表現します。合気道の特徴は多彩な状況を想定した様々な技です。刀やナイフ、長物の武器を持った相手に対する身の守り方や、自らが座っているという不利な状況において身を守る方法、多対一で身を守る方法などもあります。九州大学合気道部では、合気道を受け身などの初歩的なところから学ぶことができます。そのため部員のほとんど最初は全くの初心者です。しかし、レベルが低いという訳ではなく、週3回ほど稽古に顔を出せば3年生では黒帯をとることができます。興味のある方はぜひ一度道場に見学に来てください!



自動車部

農学部
馬場 研太 (ばば けんた)

こんにちは、九州大学自動車部です。自動車部というもの初めて聞く人がほとんどだと思います。自動車部というのは大学ならではの部活です。

そもそも自動車部って何してるの?と思ったあなたに簡単に説明しますと、車でドライブしたり、自分で車のメンテナンスをしたり、時には安全なコースを全開で走ったりしています!全開で走るなんて怖い...と思われるか

もしれませんが、安全装備を整えた車で走るので安全に楽しく走ることができます。

普段の活動は箱崎キャンパスにある車庫にて土曜日に部会を行っています。また、年に数回行われる学生大会に向けて練習会も行っています。九州地区の学生大会の優勝はもちろんのこと七帝戦での優勝も目指して練習しています!また、部員の中には連盟委員となり学生大会の運営を行っている部員もいます。

大学生活でしかできない体験を一緒にしませんか?入部お待ちしております!
九大自動車部 qucc.org@gmail.com
九大自動車部ツイッター @qucc_official



FENCING

フェンシング部

工学部
李 浩瑜 (り こうゆ)

こんにちは、フェンシング部です。新入生の皆様、ご入学お慶び申し上げます。受験が終わり、一段落つき、これから四年間大学でのキャンパスライフが待っている訳ですが、ぜひこの機会にフェンシングを初めてみませんか。

フェンシングはヨーロッパ発祥の武術ですが、今ではスポーツ競技として親しまれており、オリンピックの代表的な種目としても知られています。皆さんも太田選手

等の活躍によって、一度はその名を耳にしたことがあるのではないのでしょうか。フェンシングは主に『フルレ』、『エペ』、『サーブル』の三つの種目に分かれます。それぞれ異なったルールの下、互いに二人の選手が戦い、得点を競い合います。よく聞かれるのが、突かれて痛くないかということがありますが、防具がちゃんと守ってくれるのでそこは安心です。

フェンシング部は年中部員を募集しています。大学から入った人も多く、未経験でも問題ありません。先輩やOBの方が優しく指導してくれるので、ぜひ興味を持たれたのなら、足を運んでみてください。いつでもお待ちしております。



GO

囲碁部

理学部
清水 雅憲 (しみず まさのり)

こんにちは。九州大学囲碁部です。囲碁っておじさん達がやっているものじゃないの?とか、将棋やオセロならルールは分かるんだけど...って人が多いのではないかと思います。囲碁の簡単なルールを説明すると黑白交互に打っていき最終的に相手よりも陣地を多く作っ



た方が勝ちとなるシンプルですが奥深い頭脳のスポーツです。

私たちは平日は伊都、土曜は箱崎で春期、秋期に行われる個人戦・団体戦に向けて日々活動しています。また部員も男女問わず経験者から大学に入って囲碁を始めた初心者まで幅広いです。また、27年後期からは囲碁が総合科目の一つとして開講されました。いきなり部へはちょっと...という方はまずその講義を受けて囲碁の魅力に触れてみてはいかがでしょうか。興味を持った方はいつでも遊びにきてください。お待ちしております!

吹奏楽団

薬学部
酒井 健多 (さかい けんた)

新入学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たちは九州大学吹奏楽団です。ところで皆さん、「吹奏楽」と聞くとどのようなものが思いつきますか? 「何だか、難しい曲ばかりやってて敷居が高そう!」「管楽器なんて難しそうだし、今さら取っ付きにくいなあ…」何てことを想像するのではないのでしょうか。ところがどっこい、演奏する曲はクラシックに限らずジャズや流行りのポップスなど幅広いもので、決して親しみにくいものではありません。さらに、九州大学吹奏楽団は初心者大歓迎のサークルであり、楽器なんてやったことない!! という人でも経験者の先輩が一から丁寧に教えてくれます。大学になって初めて楽器を始めたという人でも、ちゃんと



演奏会本番ではステージに乗ることができるのでご心配はいりません。また九州大学吹奏楽団では、楽器の演奏はもちろんのこと、劇やダンス、歌などのパフォーマンスにも力を入れており、演奏会を“演奏会”という考えにとらわれず、一種の“エンターテイメントショー”として耳だけでなく目でも楽しめるステージ作りを心がけています。他大学との交流を深めることができる場所としても九州大学吹奏楽団は絶好の場所と言えます。九州大学吹奏楽団は『九州大学吹奏楽連盟』という、九州中の各大学の吹奏楽団が所属している組織に所属しており、大学同士の親睦を深める行事が年間を通して多く行われています。交友関係が広がるというだけでなく、様々な演奏技術や考え方などに触れることで良い刺激を受けることもできます。吹奏楽経験者、未経験者に関係なく、少しでも九州大学吹奏楽団に興味を持ったそこのあなた!是非とも一度見学に来てみてください。入って絶対に損はさせません。団員一同心よりあなたの入団をお待ちしております。



ボランティアサークル

文学部
田中 宏枝 (たなか ひろえ)

こんにちは、九州大学ボランティアサークル、通称九ボラです。九ボラではその名の通り、様々なボランティア活動を行っています。といっても、そんなに堅苦しいものではありません。各担当者から活動のお知らせが連絡されるので、自分の都合に合わせて活動したいものを選ぶだけです。現在の活動先としては、老人ホームや、小

学校でのお手伝い、街頭清掃などがあり、それに加えて不定期の活動や、部員が見つめてきたボランティアもあります。単純にボランティアといっても、ボランティア先で様々な方と話す機会もありますし、活動を通して得られる経験も貴重なものです。また、複数の学生と一緒に活動をするので、楽しく活動を行うことが出来ます。特定のボランティアをするのもいいですし、色々なボランティアを経験して自分に合ったボランティアの形を見つけるのもいいです。勿論、活動だけでなく、メンバーで遊びに行ったり、旅行をしたりとイベントも沢山あります。



平成27年度 全学公認サークル 一覧 (H28.3.1現在)

体育系サークル

- 合気道部
- アイスホッケー部
- 芦原空手部
- アメリカンフットボール部
- 応援団
- 空手道部
- 弓道部
- 剣道部
- 航空部
- 硬式ソフトボール部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 山岳部

- 自動車部
- 柔道部
- 準硬式野球部
- 少林寺拳法部
- 水泳部
- スキー部
- ソフトテニス部
- 体操部
- 卓球部
- テコンドー部
- 軟式野球部
- 馬術部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- バドミントン部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- ハンドボール部
- フェンシング部

- 漕艇部
- 洋弓部
- ヨット部
- ラグビー部
- 男子ラクロス部
- 女子ラクロス部
- 陸上競技部
- 錬心館空手部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング同好会
- トライアスロン同好会
- ハンググライダー愛好会
- ラケットボール愛好会
- ウィンドサーフィン愛好会
- 水球部
- チアリーディング愛好会
- 九大ツーリング愛好会
- 体育総務委員会

文化系サークル

- 囲碁部
- 映画研究部
- 英語研究部(E.S.S)
- SF研究部
- 演劇部
- 音楽鑑賞部
- 会計学研究会
- ギターアンサンブル
- グリーンクラブ
- 軽音楽部ジャズ研究会
- 国際親善会
- 混声合唱団
- 茶道部(裏千家)
- 写真部
- 将棋部
- 書道部
- 吹奏楽団
- 生物研究部

- タップダンスサークル
- 探検部
- 男声合唱団コールアカデミー
- 地学研究部
- 鉄道研究同好会
- ディベートクラブ
- 鳥人間チーム
- 能楽部
- バンド同好会
- 美術部
- 百人一首愛好会
- フィルハーモニーオーケストラ
- フォークソング部
- 物理研究部
- 舞踏研究部
- 文芸部
- 邦楽部
- 放送研究会
- 法律相談部
- ボランティアサークル
- 漫画研究部
- マンドリンクラブ

- 落語研究会
- ロック研究会
- PLANET-Q
- ICPCチャレンジ部
- 民族舞踏研究会
- マジックサークル
- アニメーション研究会
- 模型部
- 環境サークル Ecoa
- ピアノの会
- ATP
- カフェサークル茶処
- ジャグリング部
- アコースティックギターサークル
- アカペラサークル(harmoQ)
- クイズ研究会
- ポケモン研究会
- manavee 九州キャンパス
- ロボコンチームKURT
- ヒューマノイドプロジェクト
- まちじかんプロジェクト
- 糸島空き家プロジェクト

伊都キャンパスの1年

2016



▲ 4月:入学式



▲ 7月:七大戦



▲ 8月:オープンキャンパス



4月

- 入学式 4/7
- 新入生オリエンテーション 4/7~4/11
- 英語力診断テスト 4/10
- 前期授業開始 4/12

- 本学記念日 5/11

5月

- 新入生サポーターイベント「かき氷 de 涼みましょ~!」(6月予定)
- 新入生サポーターイベント「キャンドルナ伊都」(6月中旬~)

6月

- サポーターイベント「伊都」(7月上旬予定)
- 第55回 七大戦 7/2~9/24
- 新入生サポーターイベント「笹の葉飾り&糸島カレー祭り」(7月予定)

7月

- オープンキャンパス 8/6~8/8
- 前期定期試験 8/2~8/8
- 夏季休業 8/17~9/30

8月

9月

- 後期授業開始 10/3
- 体育祭 10/8

3月

- 学位記授与式 3/24



▲ 3月:学位記授与式

2月

- 後期定期試験 2/7~2/13

1月

- 大学入試センター試験 1/14~1/15

12月

- 冬季休業 12/26~1/4

11月

- 九大祭 11/18~11/21

10月



▲ 11月:九大祭

新入生サポーターによるイベント

新入生サポーターは、サポート室での日常の業務に加え、独自のイベントを企画したり、各サークル主催の活動に協力しています。以下は平成28年度に実施する予定のイベントです。

● キャンドルナ伊都

環境サークルECOをサポートし、キャンパス・モールを竹燈籠でライトアップします。

日時:平成28年6月中旬~7月上旬に実施予定
場所:センターゾーン キャンパス・モール
主催:環境サークルECO
協力:新入生サポーター



● かき氷 de 涼みましょ~!

蒸し暑くなる頃、新入生サポート制度に関するアンケートに回答して、かき氷で涼んでください。

日時:平成28年6月に実施予定 場所:サポート室
主催:新入生サポーター



● 笹の葉飾り&糸島カレー祭り

願いを込めて短冊を笹に飾りつけます。夕方からは、地元の夏野菜で作ったカレーが盛大に振る舞われます。

日時:平成28年7月に実施予定
場所:センターゾーン キャンパス・モール
主催:糸島カレー祭り実行委員会 協力:新入生サポーター



正しいマナー・ルールで、 快適な学生生活を!



♥ 学内美化を心がけましょう!

美しいキャンパスは、一人ひとりの心がけなくしては実現できません。教室をはじめとする学内の施設は大切に使い、汚損したり破損したりしないようにしてください。また、教室等へのゴミの放置は厳禁です。学内にはゴミ箱を設置していますので、各自のゴミは、責任を持ってゴミ箱に分別して捨ててください。



♥ 携帯電話等の使用について

講義中の携帯電話等による通話・メール・ウェブ・ゲームなどは、禁止しています。必ず電源を切るようにしてください。なお、試験中に携帯電話等を使用した場合、不正行為とみなされ、当該学期の履修科目をすべて無効とする等の厳重な処罰を受ける可能性があります。



♥ 掲示板・電子メールのチェック

みなさんにとって必要な情報は掲示によりお知らせをしています。掲示を見落とすと、重大な事態に陥ることがありますので、センターゾーン内に2箇所ある公用掲示板をこまめに確認するようにしてください。大学では、掲示の見落としのために不利益があったとしても、学生自身の責任となります。休講・補講・臨時の教室変更などの情報や授業に関する連絡事項は、学生ポータルシステムにより確認できます。また、大学からの連絡は、学生番号から始まるメールアドレス(学生基本メール)宛てに送信されますので、日頃から学生基本メールを確認できるように設定しておいてください。

♥ 飲酒について

未成年者の飲酒は法律で禁じられており、また、未成年者、成年者に関わらず飲酒による事件・事故は、本人のみならず、家族など周囲の者も巻き込んで大きな問題に発展します。未成年者の飲酒や、未成年者、成年者に関わらず一気飲みや飲酒の強要は厳に慎み、九大生として節度ある行動を心がけてください。



♥ SNSの利用について

Facebook、twitter等ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)を利用する人が増えています。SNSは、便利で楽しい反面、危険性も伴います。

個人情報の公開範囲は必要最小限に設定し、不特定多数が閲覧できる状態にはしないことや、身に覚えのない書き込みなどには対応しないよう充分注意してください。

また、SNS上で不適切な書き込みを行い、それを見た人からの大学への抗議や相談が起きています。軽率な書き込みが原因で社会的な責任を問われる場合もあります。自身や他者に関わる不適切な情報公開や他人に不快感を与える言動を慎む等ネットワークの適切な利用を心がけてください。



♥ 通学マナーを守りましょう!

みなさん、平成27年6月1日から自転車の交通ルールが変わり、厳しくなったことを知っていますか。残念なことに、学内外を問わず、バイク・自転車の交通ルールを無視した、マナー・モラルの悪さが目立っているようです。また、そのような行為に対する大学への苦情も後を絶たない状況にあります。周辺の住民の皆さんをはじめ多くの方々が、九大生ということで学生一人ひとりに目を向けています。交通ルールを遵守し、周囲に優しい安全運転を心がけてください。

■ 交通ルール

- 道路を横断する場合は左右確認、信号のない交差点では一時停止しましょう。
- 公道では一列走行、二人乗りは禁止です。歩行者とすれ違うときは徐行すること。
- 夜間はライトを点灯しましょう。
- イヤホンやヘッドホンで音楽を聴きながらの運転も危険です。

■ 駐輪マナー

- 所定の駐輪場に駐輪しましょう。所定場所以外で駐輪している場合は自転車をロックします。
- 歩道の点字ブロック上への駐輪は厳禁です。
- 学内に設置している空気入れは皆が使用します。当然ですが、持ち帰りは窃盗です。

♥ 違法薬物には絶対に手を出してはいけません!

薬物(大麻・覚せい剤・危険ドラッグ等)使用が大きな社会問題になっています。禁止薬物を使用または売買するなどの反社会行為は許されないことです。禁止薬物の乱用は勉強意欲を減退させるだけでなく、家庭を壊し社会秩序を大きく混乱させるなど、多方面に計り知れない影響を及ぼします。大麻等の禁止薬物の所持や乱用は法律で規制され、違犯した場合は薬事法違反として厳しく処罰されます。誘われてもきっぱりと断る勇気を持ってください。



♥ 節電に努めましょう!

教室を出る際は、消灯し、エアコンはオフにしましょう。自学学習等を大学でするときは、図書館や喫煙天空広場などを利用し(P16・17参照)、教室を少人数だけで使用することは、なるべく避けましょう。





困ったときは、相談してください!

1 事務窓口 (平成28年3月13日現在)

- 基幹教育課・学生支援課事務室 (センター1号館2階)
 - 《窓口時間》
 - 通常の期間 8:30~17:15
 - ※4月は、8:30~18:15
 - 《休業日》
 - 土曜日・日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日 (年末年始休業 12月29日~1月3日)

[担当窓口一覧]

- 基幹教育課
 - 基幹教育教務係 TEL 092-802-5941
 - 基幹教育科目の履修・定期試験に関すること、授業アンケートに関すること
 - 21世紀プログラム係 TEL 092-802-5951
 - 21世紀プログラム学生・放送大学の授業科目履修に関すること

- 学生支援課
 - 学生支援係 TEL 092-802-5961
 - 学籍異動(休学等)、現住所・保護者等に関すること、学生証再発行、海外渡航に関すること、バイク入構登録、遺失物・拾得物に関すること

知っているると便利です!

2 生活支援

- 学生相談室 (センター1号館1階) TEL 092-802-5820
 - 開室時間 月~金 10:00~16:00
 - 業務内容 学生生活、修学、進路、対人関係に関する相談に対し、カウンセラーが応じます。
- 健康相談室 (ビッグさんど:生活支援施設2階)
 - TEL 092-802-5881
 - 相談受付時間 月~金 9:00~16:00
 - 業務内容 病気、怪我、心身の不調に対し、医師、保健師がサポートします。
- コミュニケーション・バリアフリー支援室 (センター1号館1階)
 - TEL 092-802-5859
 - 開室時間 月~金 10:00~17:00
 - 業務内容 障害のある学生さんが、学業・学生生活において十分に個性と能力が発揮できるようサポートします。
- 食堂・喫茶
 - ビッグさんど (生活支援施設1階・地下1階) TEL 092-805-7701
 - 食堂 Coop Main Dining
 - 喫茶 Coop Bread & Cafe Coop Takeout
 - 座席数: 1091席
 - 営業時間 月~金 8:00~20:30
 - 土 11:00~14:00 17:00~19:30
 - 日 11:00~14:00
- カフェ・軽食
 - QASIS (センター2号館1階) TEL 092-805-7702
 - 座席数: 200席
 - 営業時間 月~金 7:45~17:00



- 奨学金係 TEL 092-802-5931
 - 日本学生支援機構奨学金及び各種奨学金に関すること
- 学生納付金免除係 TEL 092-802-5948
 - 授業料免除に関すること、通学証明書、学生割引乗車券及び各種証明書に関すること、学生教育研究災害傷害保険に関すること
- 課外活動支援係 TEL 092-802-5966
 - 課外活動に関すること、体育館・グラウンド等の施設利用に関すること
- 寮務係 TEL 092-802-5991
 - 学生寄宿舎に関すること
- 就職支援係 TEL 092-802-5897
 - 就職情報・就職支援に関すること、就職相談に関すること、就職ガイダンス・セミナー等に関すること
- キャリア支援係 TEL 092-802-5903
 - キャリアガイダンス・インターンシップに関すること、公務員試験対策講座に関すること、TOEIC対策プログラムに関すること
- 外国人留学生・研究者サポートセンター (センター1号館2階)
 - TEL 092-802-5973
 - 業務窓口時間: 月~金 9:00~17:00
 - 業務内容 外国人留学生や外国人研究者を対象とした各種手続や生活上の支援 (英語による対応可)

- レストラン
 - Big Orange (ビッグオレンジ) TEL 092-805-7703
 - 座席数: 130席
 - 営業時間 月~金 11:30~14:00 17:00~20:30
- 咬咬舎 書店・売店 (九大生協) TEL 092-805-7700
 - 営業時間 月~金 8:00~20:00
 - 土 8:00~19:00
 - 日 祝 10:00~17:00
- コンビニ(ローソン) (ビッグさんど:生活支援施設1階)
 - 営業時間 月~土 7:00~21:00
- 総合体育館(伊都)
 - 利用時間 10:00~21:00 TEL 092-802-5994
 - ※授業中や休業期間は利用できない場合があります。体育館事務室で確認してください。
- 課外活動施設 I・II (伊都)
 - 利用時間 9:00~21:00
 - (共同連絡室(サークル室)9:00~22:00)
 - TEL 092-802-5993

3 その他

- コインロッカー (センター1号館3階)
 - 設置台数: 150人分
 - 利用時間 8:00~18:30 (18:30までに荷物は必ず出すこと)
 - ※休業期間及び土・日・祝日は利用できません。
 - 利用料金 無料 (利用時に100円を投入し、開錠時に返却)
- 小物一時預かりロッカー (ダイヤル式)
 - 設置場所 センター1号館5階と6階、総合体育館

編集後記

新入生のみなさん、いよいよ九州大学での生活が始まりましたね。緊張の中、手渡された書類や冊子、パンフレットの山、山、山、...でうんざりしているかもしれません。この「OHMEI(嚶鳴)」は、そんなみなさんが、「まずOHMEIを開いてそこから情報を手繰ってみよう!」と思ってもらえるような冊子を目指して編集しました。この中には、これからみなさんが九州大学で生活していくために必要な情報の糸口が詰まっています。大学生生活に慣れるまではOHMEIをいつもカバンに入れておき、わからないことや気になったことがあれば開いてみてください。きっと何らかのヒントを見つけられるでしょう。あつ、でも書けなかった情報もあります。椎木講堂横で建設している建物は? ど真ん中にある空き地には将来何が建つのでしょうか。九州大学がどんなふうになっていくのか、その中でみなさんがどのように成長していくのか、楽しみです。自ら将来を切り拓いてください。九州大学はいつもみなさんを応援しています。(KF)

【表紙写真】



タイトル:「夕暮れの伊都キャンパス」
写真撮影:九州大学写真部 井上 翔太
撮影場所:センター1号館2号館連絡橋より

伊都キャンパスでは、毎年6月に「キャンドルナイト伊都」と呼ばれるイベントが開催されています。この写真は完全に暗がりになる前に撮影したもので、イベント的にはまだ序盤なのですが、私はこの時間帯の伊都キャンパスの様子が一番だと思っています。暗くなれば、キャンドルの明りが一面に輝く素晴らしい景色を見ることが出来ます。しかし、この時間帯は、建物の明りとキャンドルの明りが混在し、とてもキャンパスとは思えない雰囲気を出しているような気がします。伊都キャンパスは、工事で日々様子変化します。普段見慣れているものでも、実は新しい発見があるような気がします。みなさんもぜひ探してみてください。



【裏表紙写真】

写真撮影:九州大学写真部 高山 浩太郎
撮影場所:センター1号館4階より

編集委員

[◎委員長]

- ◎古屋 謙治 (基幹教育院 教授)
- 山田 祐樹 (基幹教育院 准教授)
- 大久保 文哉 (基幹教育院 助教)
- 李 曉燕 (比較社会文化研究院 助教)
- 李 相穆 (言語文化研究院 准教授)
- 吉田 寛 (数理学研究院 准教授)
- 木村 元 (工学研究院 准教授)
- 福盛 英明 (キャンパスライフ・健康支援センター 准教授)
- 佐藤 文 (基幹教育院 技術職員)
- 杉本 和仁 (学務部学生支援課 課長補佐)
- 田中 紀代美 (学務部基幹教育課 課長補佐)
- 吉崎 志保 (学務部基幹教育課 運営支援係長)



嚶鳴 おうめい **第9号** 九州大学基幹教育広報誌

発行日 2016年4月1日

発行元 九州大学基幹教育院

〒819-0395 福岡市西区元岡744番地

電話 092-802-5921・5922 / FAX 092-802-5990

印刷 株式会社ミドリ印刷